

あきみつしげ 「昭光茂」が県基幹種雄牛に選抜

ー全国トップレベルの種雄牛が今年度も誕生ー

第11回全共で日本一を獲得した出品牛と同じ「好平茂」を父に持ち、「好平茂」を大きく上回る全国トップクラスの産肉成績を記録した「昭光茂」が基幹種雄牛に選抜されたのでお知らせします。

1 「昭光茂」のプロフィール

生年月日 平成29年3月24日
父 好平茂
母 ふくゆりこ
母の父 ^{よしひらしげ} 百合茂
生産地 角田市
飼養場所 宮城県畜産試験場



2 概要

- 種雄牛の能力を評価するための現場後代検定において、枝肉重量（一頭当たりの肉量）が県歴代1位、霜降りの度合い（脂肪交雑）が県歴代2位と質・量ともにきわめて良好な産肉成績であったことから、去る宮城県肉用牛改良小委員会において、基幹種雄牛として選抜されました。
- 「昭光茂」は、産肉能力の高さに加え発育や体積に優れており、肉用牛改良に活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。
- 「昭光茂」の家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

3 現場後代検定成績

	検定頭数	出荷月齢	枝肉重量(1) (kg)	ロース芯面積(2) (cm ²)	ばらの厚さ(3) (cm)	脂肪交雑(4) (BMS No.)	4,5等級率(5) (%)
昭光茂	19	29.9	543.3	71.3	8.9	9.6	100
全国(6)		29.3	466.2	59.3	7.8	6.6	

(1)から(5)全て 数値が大きい方が良い。(4)サシや霜降りの指標であり、1から12までの12段階で評価される。

(5)上物率とも呼ばれる。(6)令和3年3月までの広域後代検定(19道県 種雄牛2,631頭)の成績。

4 取材にあたっての注意事項

家畜防疫上畜産試験場内及び生産者への立ち入りはできません。取材は畜産課で対応いたします。